

## エラーの少ないシェードマッチングを行うための歯科技工士からの提案

播州支部（医中川歯科医院 瓜生田達也）

近年歯科業界において、患者の審美における関心、要求が高まっていることを日々の臨床において非常に感じています。その中で、口腔内におけるシェードマッチングは非常に重要であり、その問題をクリアしなければ、患者の納得する補綴装置の装着は困難となることでしょう。

その解決策として、チェアサイドとラボサイドがお互い連携し、健全なカラーコミュニケーションを行える環境作りが重要であると考えます。その例として、私は大きく3つに分けてカメラ撮影、シェードガイド、歯牙色調測定器をシェードテイキング三種の神器と位置付けて臨床を行っています。

これら3つのデジタル、アナログな部分を融合させ、いかにシステムティックに、色調におけるエラーの少ない補綴装置を製作出来るか、院内ラボで勤務している経験のなかで提案したいと思います。